

指導資料

生活 第11号

－小学校，特別支援学校対象－



鹿児島県総合教育センター

平成22年4月発行

スタートカリキュラムの基本的な考え方とその編成モデル

学習指導要領解説生活編には改訂の要点として「学校生活への適応が図られるよう，合科的な指導を行うことなどの工夫により第1学年入学当初のカリキュラムをスタートカリキュラムとして改善することとした。」と述べられている。

これまでも各学校においては，入学当初の児童に対して一定期間の適応指導を実施してきている。また，生活科においては，幼児と触れ合うなどの交流活動や他教科等との関連を図る指導について取組みがなされてきた。今回の改訂では，これまでの取組をさらに進め，第1学年入学当初において，生活科を中心とした合科的な指導を行うなどの工夫が求められている。

そこで本稿では，生活科を中心とした合科的な指導を行うための，スタートカリキュラムの基本的な考え方とその編成モデルについて述べる。

1 スタートカリキュラムとは

(1) スタートカリキュラムの位置付け

スタートカリキュラムは，幼稚園や保育所の生活から，定められた時間割によって教科等の学習が行われる小学校生活へ，スムーズに適応していけるために構成するカリキュラムである。したがって，図1に示すように小学校入

学当初，総合的に学ぶ幼児教育の成果を小学校教育に生かし，教科を横断した大単元から各教科の単元へと分化していくカリキュラムとして考えられている。

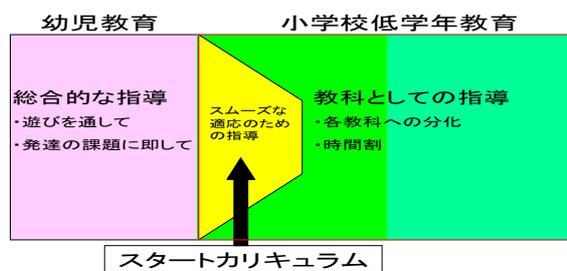


図1 スタートカリキュラムの位置づけ

(2) スタートカリキュラムの形態

上記のようなスタートカリキュラムとしての大単元を構成する場合，次の3つの形態を各学校の実態を踏まえて構成していくこととなる。

- ① これまでも実施されてきた，学級活動を中心とした生活適応指導
- ② 生活科，国語科，音楽科，図画工作科などの合科的な指導
- ③ 他教科と生活科での活動を関連付けた指導

ただし，この3つの形態が常にそれぞれ

れ独立した1単位時間となるのではない。教科のねらいを踏まえながら、子どもの思いや願いを生かした弾力的な構成がスタートカリキュラムには求められている。

2 スタートカリキュラムの編成の基本的な考え方

(1) スタートカリキュラムの実施時期

スタートカリキュラムの始まりは入学直後からであるが、いつまでをスタートカリキュラムとして編成するかということが問題となる。学習指導要領等においてもその時期は明示されていない。

しかし、スタートカリキュラムの趣旨を考えると、短期間では不十分である。各学校のカリキュラムの内容によるが、1か月以上は確保しておきたい。

また、スタートカリキュラムは分化された教科学習へのスムーズな接続を果たすことが重要であり、図2に示したように、子どもたちの学習が徐々に教科学習に移行する構成にしていく必要がある。

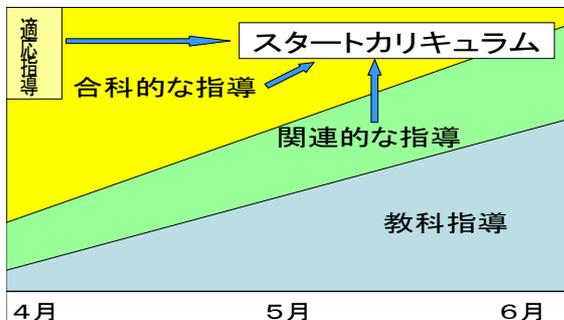


図2 スタートカリキュラムと教科指導

さらに、スタートカリキュラム内においても、入学当初は適応指導や合科的

な指導の形態を中心に実施し、生活科と他教科を関連付けた指導の形態へと移行していくことが有効である。

(2) 時数の適切な割り振り

スタートカリキュラムにおいて合科的な指導を実施する場合、各教科のねらいを達成するために、それぞれの教科の時数はある程度確保する必要がある。

そこで、1単位時間（45分）の活動内容をその主たるねらいによって15分ごとの3つに分けて教科に割り振り、各教科の時数として算定することも考えられる（図3）。

	1 時	2 時	3 時
15分	生活	生活	国語
15分	国語	生活	音楽
15分	国語	音楽	音楽

※ 活動内容をもとに割り振られた時数を合計すると、生活、国語、音楽の時数は各1時間の算定となる。

図3 活動内容と時数の割り振り例

(3) 合科的な扱いを構想できる教科の内容

入学当初の各教科等の内容には、生活科を中核として合科的な指導が可能であると考えられる内容が多い。これまでも、実際の授業場面では生活科と関連付けて指導が行われることが多かったと思われるが、さらに1単位時間ごとの教科指導から脱却し、合科的な指導を推進していきたい。年度当初の合科的な指導が可能と思われる教科等の活動内容は以下の内容である。

	主 な 活 動
国語	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て気付いたことや想像したことなどを話し合う。
国語	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て面白い場面を話し合う。 読み聞かせを聞く。 自分を紹介する名刺を作り、自己紹介のあいさつをする。 鉛筆の正しい持ち方を身に付けるために、鉛筆で線や絵をかく。
国語	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検に行く時の挨拶やマナーや安全について知る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て、数量の関係を言葉で表す。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 友達の名前を覚え、みんなと仲良く遊ぶ。 学級のみんなど約束を守って楽しく遊ぶ。 校庭の動植物とのふれあいで気付いたことを交流する。 学校探検をして、学校にいる人や施設等について気付いたことをまとめ発表する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 自由に身体表現しながら歌う。 曲に合わせて歩いたり、出会った友だちと挨拶したりして遊ぶ。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 見つけたものやつくってみたいものを発表する 好きな色で表したいようにかく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 固定施設を使って楽しく遊ぶ。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、水道、靴箱の使用マナーを知る。 給食でのマナーや、配膳について知る。 廊下歩行や校内のきまりを知る。

3 スタートカリキュラムの編成モデル

(1) スタートカリキュラム「がっこうたんけん」の指導計画例（全36時間）

「がっこうたんけん」は、以下のような他教科、領域との合科的・関連的な指導によって、スタートカリキュラムとしてふさわしいと考えられる。

<p>みんなdegacougoutankenをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生から学校探検の話聞き、一緒に探検をする。 探検したい場所を話し合い、探検の計画をたてる。〈特別活動、道徳〉
<p>としょかんをたんけんをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の様子を見て、気付いたことを発表したり、読み聞かせを聞いたりする。 <p>〈国語科〉</p>
<p>おんがくしつをたんけんしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽室を探検し、いろいろな楽器で遊んだり、歌を歌ったりする。 <p>〈音楽科〉</p>
<p>こうていをたんけんしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定施設の使い方、校庭での遊び方を知り、楽しく遊ぶ。 <p>〈体育科〉</p>
<p>こうちょうしつをたんけんしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 校長先生と出会い、自己紹介をしたり、お話を聞いたりする。 <p>〈国語科〉</p>
<p>ずこうしつをたんけんしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 図工室の作品を見て、好きな色で表わしたいものをかく。 <p>〈図画工作科〉</p>
<p>みつけたことをみんなにおしえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 探検で気付いたこと、楽しかったことまとめ、発表する。 <p>〈国語科、図画工作科〉</p>

- 点線囲みの活動に順序性はなく、子どもたちの計画に従って実施する。
- 〈〉内の教科等は、それぞれの活動場所において、教科内容を取り扱う教科を示した。

(2) スタートカリキュラムの週時程計画例 構想したカリキュラムを実践する場合、その活動のねらいを明確にしておくことが重要である。

そこで、週時程表にまとめ、新入生を迎える会等の学校行事等との関連も考慮した総合単元的な実践となるよう配慮することが有効である（図4）。

日	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
曜	月	火	水	木	金
1	生 学校探検 行 新入生を迎える会 行	算 10までのかず 算 ・3の意味と読み方、書き方 算	算 10までのかず 算 ・1, 2の意味と読み方 算 書き方	道 気持ちのよいあいさつ 道 ・挿絵を見て 道 ・役割演技	生 学校探検 生 ・グループ探検 国 あいさつとマナー
2	生 学校探検(図書室) 国 お話読んで 国 ・読み聞かせ 国 ・昔話	国 はる 国 ・朝の学校の様子や絵を見て分かることを話し合う 生	生 学校探検(校庭) 生 ・花壇の草花 体 固定施設遊び	生 学校探検 生 ・探検計画 国 自己紹介の仕方	国 あいさつとマナー 国 国
3	生 学校探検(保健室) 行 身体計測 行	生 学校探検(校庭) 体 固定施設遊び 体	国 名刺づくり 国 ・自分の名前 国 ・好きな物の絵 国	国 自己紹介の仕方 国 名刺づくり 国 ・好きな物の絵 国 ・名刺交換	体 固定施設遊び 体 ・遊び方の工夫 体 ・遊びの紹介
4	生 学校探検(給食室) 学 給食の運搬の仕方 学 給食準備	生 学校探検 生 ・他学年参観 学 給食準備	国 名刺づくり 国 ・好きな物の絵 国 ・名刺交換 学 給食準備	算 10までのかず 算 ・4の意味と読み方、書き方 算	算 10までのかず 算 ・5, 6の意味と読み方 算 書き方
5		国 鉛筆の持ち方 国 正しい姿勢 国	生 学校探検(音楽室) 音 ぞうさんのさんぽ 音	国 ひらがな 国 国	行 交通安全教室 行 行

図4 スタートカリキュラムの週時程への位置付け例

これまで、幼児教育との連携の重要性が指摘されてきた。さらに、今回の学習指導要領改訂においては、より一層の連携を図るスタートカリキュラムの編成が求められてきた。

スタートカリキュラムの編成にあたっては、幼稚園・保育所の方々と入学前の指導についても共通理解を深め、各学校の実態に応じたものとなるよう配慮する必要がある。さらに、

実践を通してより滑らかな幼小の接続がなされるようカリキュラムを見直し、「小1プロブレム」等の解消を図ることが重要である。

【引用・参考文献】

文部科学省 「小学校学習指導要領解説生活編」 平成20年8月 日本文教出版

(企画課)